

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	清風情報工科学院
設置者名	学校法人 清風明育社

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
工業専門課程	デザイン・コンピュータ学科(2年制)	夜・通信	12 単位 (180 時間)	7 単位 (160 時間)	
	デザイン・コンピュータ学科(3年制)	夜・通信	20 単位 (300 時間)	10 単位 (240 時間)	
	デザイン・コンピュータ学科(4年制)	夜・通信	28 単位 (420 時間)	13 単位 (320 時間)	
(備考) 経過措置に基づき授業時数を併用している					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバスにて公表 https://i-seifu.jp/i-seifu_navi/information/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	清風情報工科学院
設置者名	学校法人 清風明育社

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページに公開 https://i-seifu.jp/i-seifu_navi/information/
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	宗教法人代表役員	令和7年度定時評議員会(R8.5.29)終了後～令和9年度定時評議員会まで	理事会を構成し法令及び寄附行為で定めるところにより、職務を遂行するとともに、学園運営全般における助言。
非常勤	学校法人職員	令和7年度定時評議員会(R8.5.29)終了後～令和9年度定時評議員会まで	理事会を構成し法令及び寄附行為で定めるところにより、職務を遂行するとともに、学園運営全般における助言。
非常勤	株式会社代表取締役	令和7年度定時評議員会(R8.5.29)終了後～令和9年度定時評議員会まで	理事会を構成し法令及び寄附行為で定めるところにより、職務を遂行するとともに、学園運営全般における助言。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	清風情報工科学院
設置者名	学校法人 清風明育社

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) デザイン・コンピュータ学科では年度ごとに学科目標を定め、その目標を達成できる授業計画の作成を毎年行う。目標を達成するために学生の習熟度を把握し、達成可能な授業内容と手法を考慮し授業計画を行っている。 授業計画の作成は前年11月から開始し、4月に公表を行う予定である。	
授業計画書の公表方法	https://i-seifu.jp/i-seifu_navi/information/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) デザイン・コンピュータ学科では各科目に対し、下記の5つの条件を満足した場合に限り、単位を認定する。単位認定の通知は書面にて行う。 取組姿勢：礼節を重んじ、学業に対して前向きであること 成績：「優/良/可」、「合」の評価があること 出席率：80%以上出席していること 課題提出率：すべての課題を提出していること(100%) 学費完納：学費納入を完了していること デザイン・コンピュータ学科では定期試験、課題レポート・課題作品の提出または授業態度などより、成績評価を行う。成績の評価は科目によって4段階（優/良/可/不可）あるいは2段階（合/不可）で示す。成績評価の通知は書面にて行う。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) デザイン・コンピュータ学科では下記表の4段階(優/良/可/不可)あるいは2段階(合/不可)で成績を評価し示す。 優 優れた成績(80点以上)を示した者 良 妥当と認められる成績(70点以上、80点未満)を示した者 可 最低限度の成績(60点以上、70点未満)を示した者 合 合格と認められる成績を示した者 不可 合格と認められるに足る成績を示さなかった者 また、学年ごとの成績分布を、下記計算式により算出する 優・合:3ポイント 良:2ポイント 可:1ポイント 不可:0ポイント {(評価ポイント3の単位数×3) + (評価ポイント2の単位数×2) + (評価ポイント1の単位数×1) + (評価ポイント0の単位数×0)} ÷ 総登録単位数	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	https://i-seifu.jp/i-seifu_navi/information/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) デザイン・コンピュータ学科では下記の条件を満たした場合に卒業を認定する。 取組姿勢 礼節を重んじ、社会人として前向きであること 卒業制作 完了と認められ、提出していること 必修科目 必修科目は全て単位認定していること 取得単位 2年制:87単位(1,700時間) 3年制:131単位(2,550時間) 4年制:172単位(3,400時間)を満たしていること 必修資格 コース毎、又は個人に設定された資格を取得していること 学費完納 当該年度の学費を完納していること	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://i-seifu.jp/i-seifu_navi/information/

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	清風情報工科学院
設置者名	学校法人 清風明育社

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://i-seifu.jp/school/
収支計算書又は損益計算書	https://i-seifu.jp/school/
財産目録	https://i-seifu.jp/school/
事業報告書	https://i-seifu.jp/school/
監事による監査報告（書）	https://i-seifu.jp/school/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程	デザイン・コンピュータ学科（2年制）		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼	87単位以上 (1700時間以上)	318単位 (4,770時間)	266単位 (2,970時間)	44単位 (660時間)			
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人		42人	20人	11人	14人	25人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） デザイン・コンピュータ学科では基礎力、実践力、適応力を重視し、1年次には資格の取得対策を行った上で、各専門分野を体験して次年度に専攻を決める「ぐるぐる」制度を導入している。 各授業では不易流行の基礎技術/技能を重視し、毎年最低1作の作品制作を必須としており、年度末に行われる発表会に向けて企業に対してプレゼンテーションを行う機会を設け、個人またはチームで準備し実践力を磨いている。 また、入社した企業に適応できるように技術/技能は特定の方式に偏らないように指導し、就職試験や面接のための指導も授業内および個別にサポートしている。
成績評価の基準・方法
（概要） デザイン・コンピュータ学科では下記表の4段階（優/良/可/不可）あるいは2段階（合/不可）で成績を評価し示す。 優 優れた成績(80点以上)を示した者 良 妥当と認められる成績(70点以上、80点未満)を示した者 可 最低限度の成績(60点以上、70点未満)を示した者 不可 合格と認められるに足る成績を示さなかった者

合	合格と認められる成績を示した者
不可	合格と認められるに足る成績を示さなかった者
また、学年ごとの成績分布を、下記計算式により算出する 優・合：3ポイント 良：2ポイント 可：1ポイント 不可：0ポイント { (評価ポイント3の単位数×3) + (評価ポイント2の単位数×2) + (評価ポイント1の単位数×1) + (評価ポイント0の単位数×0) } ÷総登録単位数 デザイン・コンピュータ学科では各科目に対し、下記の5つの条件を満足した場合に限り、単位を認定する。単位認定の通知は書面にて行う。 取組姿勢：礼節を重んじ、学業に対して前向きであること 成績：「優／良／可」、「合」の評価があること 出席率：80％以上出席していること 課題提出率：すべての課題を提出していること（100％） 学費完納：学費納入を完了していること	
卒業・進級の認定基準	
（概要） デザイン・コンピュータ学科では下記の条件を満たした場合に卒業を認定する。 取組姿勢 礼節を重んじ、社会人として前向きであること 卒業制作 完了と認められ、提出していること 必修科目 必修科目は全て単位認定していること 取得単位 87単位（1,700時間）を満たしていること 必修資格 コース毎、又は個人に設定された資格を取得していること 学費完納 当該年度の学費を完納していること	
学修支援等	
（概要） 授業にチューターを設け学習サポートを行い授業の遅れが出ないようにしている。また希望者には補習授業を行い学習支援を行っている。予習・復習時間を日々の時間に設ける様に促し前期・後期の学期に学習・生活面の個人相談を行い早期アドバイスをを行っている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	1人 (7.7%)	11人 (84.6%)	1人 (7.7%)
（主な就職、業界等） システムエンジニア・プログラマー・ゲームクリエイター・デザイナーなど IT業界・ゲーム業界・デザイン業界			
（就職指導内容） 基礎学力授業・就職対策授業・学内企業説明会開催・個別指導を行い対応			
（主な学修成果（資格・検定等）） 基本情報処理技術者 IT パスポート MOS 情報活用能力試験 ウェブクリエイター能力認定 シリコンバレージャパンユニバーシティ修了 など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35 人	1 人	2.9%
(中途退学の主な理由) 経済的理由、及び学校生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組) 保護者との連携、進路相談等対応		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程		デザイン・コンピュータ学科（3年制）		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類						
			講義	演習	実習	実験	実技		
3年	昼	131 単位以上 (2, 550 時間以上)	374 単位 (5, 610 時間)	399 単位 (4, 590 時間)	143 単位 (2, 130 時間)				
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
240 人		103 人	0 人	11 人		14 人		25 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） デザイン・コンピュータ学科では基礎力、実践力、適応力を重視し、1年次には資格の取得対策を行った上で、各専門分野を体験して次年度に専攻を決める「ぐるぐる」制度を導入している。 各授業では不易流行の基礎技術/技能を重視し、毎年最低1作の作品制作を必須としており、年度末に行われる発表会に向けて企業に対してプレゼンテーションを行う機会を設け、個人またはチームで準備し実践力を磨いている。 また、入社した企業に適應できるように技術/技能は特定の方式に偏らないように指導し、就職試験や面接のための指導も授業内および個別にサポートしている。	
成績評価の基準・方法	
（概要） デザイン・コンピュータ学科では下記表の4段階（優/良/可/不可）あるいは2段階（合/不可）で成績を評価し示す。 優 優れた成績(80点以上)を示した者 良 妥当と認められる成績(70点以上、80点未満)を示した者 可 最低限度の成績(60点以上、70点未満)を示した者 不可 合格と認められるに足る成績を示さなかった者 合 合格と認められる成績を示した者 不可 合格と認められるに足る成績を示さなかった者 また、学年ごとの成績分布を、下記計算式により算出する 優・合：3ポイント 良：2ポイント 可：1ポイント 不可：0ポイント { (評価ポイント3の単位数×3) + (評価ポイント2の単位数×2) + (評価ポイント1の単位数×1) + (評価ポイント0の単位数×0) } ÷ 総登録単位数 デザイン・コンピュータ学科では各科目に対し、下記の5つの条件を満足した場合に限り、単位を認定する。単位認定の通知は書面にて行う。 取組姿勢：礼節を重んじ、学業に対して前向きであること 成績：「優/良/可」、「合」の評価があること 出席率：80%以上出席していること 課題提出率：すべての課題を提出していること（100%） 学費完納：学費納入を完了していること	
卒業・進級の認定基準	

(概要)	
デザイン・コンピュータ学科では下記の条件を満たした場合に卒業を認定する。	
取組姿勢	礼節を重んじ、社会人として前向きであること
卒業制作	完了と認められ、提出していること
必修科目	必修科目は全て単位認定していること
取得単位	131 単位（2,550 時間）を満たしていること
必修資格	コース毎、又は個人に設定された資格を取得していること
学費完納	当該年度の学費を完納していること
学修支援等	
(概要)	
授業にチューターを設け学習サポートを行い授業の遅れが出ないようにしている。また希望者には補習授業を行い学習支援を行っている。予習・復習時間を日々の時間に設ける様に促し前期・後期の学期に学習・生活面の個人相談を行い早期アドバイスをを行っている。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
70 人 (100%)	0 人 (0%)	65 人 (92.9%)	5 人 (7.1%)
(主な就職、業界等)			
システムエンジニア・プログラマー・ゲームクリエイター・デザイナーなど IT 業界・ゲーム業界・デザイン業界			
(就職指導内容)			
基礎学力授業・就職対策授業・学内企業説明会開催・個別指導を行い対応			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
基本情報処理技術者 IT パスポート MOS 情報活用能力試験 ウェブクリエイター能力認定 シリコンバレージャパンユニバーシティ修了 など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
143 人	6 人	4.2%
(中途退学の主な理由)		
経済的理由、及び学校生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
保護者との連携、進路相談等対応		

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
工業		工業専門課程		デザイン・コンピュータ学科（4年制）				○	
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数		開設している授業の種類					
	講義			演習	実習	実験	実技		
4年	昼	172 単位以上 (3,400 時間以上)		388 単位 (5,820 時間)	415 単位 (4,830 時間)	171 単位 (2,550 時間)			
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
80 人		9 人	0 人	11 人		14 人		25 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） デザイン・コンピュータ学科では基礎力、実践力、適応力を重視し、1年次には資格の取得対策を行った上で、各専門分野を体験して次年度に専攻を決める「ぐるぐる」制度を導入している。各授業では不易流行の基礎技術/技能を重視し、毎年最低1作の作品制作を必須としており、年度末に行われる発表会に向けて企業に対してプレゼンテーションを行う機会を設け、個人またはチームで準備し実践力を磨いている。また、入社した企業に適応できるように技術/技能は特定の方式に偏らないように指導し、就職試験や面接のための指導も授業内および個別にサポートしている。	
成績評価の基準・方法	
（概要） デザイン・コンピュータ学科では下記表の4段階（優/良/可/不可）あるいは2段階（合/不可）で成績を評価し示す。 優 優れた成績(80点以上)を示した者 良 妥当と認められる成績(70点以上、80点未満)を示した者 可 最低限度の成績(60点以上、70点未満)を示した者 不可 合格と認められるに足る成績を示さなかった者 合 合格と認められる成績を示した者 不可 合格と認められるに足る成績を示さなかった者 また、学年ごとの成績分布を、下記計算式により算出する 優・合：3ポイント 良：2ポイント 可：1ポイント 不可：0ポイント { (評価ポイント3の単位数×3) + (評価ポイント2の単位数×2) + (評価ポイント1の単位数×1) + (評価ポイント0の単位数×0) } ÷ 総登録単位数 デザイン・コンピュータ学科では各科目に対し、下記の5つの条件を満足した場合に限り、単位を認定する。単位認定の通知は書面にて行う。 取組姿勢：礼節を重んじ、学業に対して前向きであること 成績：「優/良/可」、「合」の評価があること 出席率：80%以上出席していること 課題提出率：すべての課題を提出していること（100%） 学費完納：学費納入を完了していること	
卒業・進級の認定基準	

(概要)	
デザイン・コンピュータ学科では下記の条件を満たした場合に卒業を認定する。	
取組姿勢	礼節を重んじ、社会人として前向きであること
卒業制作	完了と認められ、提出していること
必修科目	必修科目は全て単位認定していること
取得単位	172 単位（3,400 時間）を満たしていること
必修資格	コース毎、又は個人に設定された資格を取得していること
学費完納	当該年度の学費を完納していること
学修支援等	
(概要)	
授業にチューターを設け学習サポートを行い授業の遅れが出ないようにしている。また希望者には補習授業を行い学習支援を行っている。予習・復習時間を日々の時間に設ける様に促し前期・後期の学期に学習・生活面の個人相談を行い早期アドバイスをを行っている。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
1 人 (100%)	0 人 (0%)	1 人 (100%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等)			
システムエンジニア・プログラマー・ゲームクリエイター・デザイナーなど IT 業界・ゲーム業界・デザイン業界			
(就職指導内容)			
基礎学力授業・就職対策授業・学内企業説明会開催・個別指導を行い対応			
(主な学修成果（資格・検定等）)			
基本情報処理技術者 IT パスポート MOS 情報活用能力試験 ウェブクリエイター能力認定 シリコンバレージャパンユニバーシティ修了 など			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
経済的理由、及び学校生活不適應		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
保護者との連携、進路相談等対応		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
デザイン・コンピュータ学科 (1年次)	300,000 円	940,000 円	40,000 円	
デザイン・コンピュータ学科 (2年次以降)	0 円	1,240,000 円	40,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://i-seifu.jp/i-seifu_navi/information/		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制） 組織的・継続的な教育活動の改善と教育内容の特色づくりを目的とし、関係企業の職員（情報処理・ゲーム・デザインの各ジャンルごとの企業から）と教職員で構成した学校関係者評価委員会を設置する。組織のうえでは、校長直属とする。評価内容について、真摯に受け止め、改善されるべきところ、また新たな取り組みを要することについて、速やかに対応する。年に2回評価委員会を実施し評価を行う。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社ソフトウェアサービス	2017年5月1日～2027年4月30日（任期更新）	卒業生・企業等委員
株式会社今日見堂企画	2017年5月1日～2027年4月30日（任期更新）	卒業生・企業等委員
コムシス株式会社	2024年5月1日～2027年4月30日（任期更新）	卒業生・企業等委員
合同会社シュガーカット	2024年5月1日～2027年4月30日（任期更新）	卒業生・企業等委員
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://i-seifu.jp/i-seifu_navi/information/		
(備考) 第三者評価は実施しておらず、評価の基本方針および評価の委員については学校関係者評価の内容を記載している。		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://i-seifu.jp/>

(別紙)

- ※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。
- ※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H127310001389
学校名（〇〇大学 等）	清風情報工科学院
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人 清風明育社

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		78人（ 18 ）人	78人（ 17 ）人	78人（ 20 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	30人	31人	
	（うち多子世帯）	（ － 人）	（ － 人）	
	第Ⅱ区分	14人	16人	
	（うち多子世帯）	（ － 人）	（ － 人）	
	第Ⅲ区分	10人	－ 人	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ － 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	12人	11人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－ 人	－ 人	
	区分外（多子世帯）	－ 人	－ 人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				78人（ 20 ）人
(備考)				

- ※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。
- ※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	— 人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単 位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意 欲が著しく低い状況	— 人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	— 人	0人	0人
計	— 人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良である
ことについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたこと
により認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	— 人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)&及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	— 人	— 人	— 人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	— 人	— 人	— 人
計	12人	— 人	— 人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。